

提出順	//	発言順	//	令和4年2月15日 午前・午後 / 時18分受領
-----	----	-----	----	-----------------------------

(4枚中No.1)

令和4年2月15日

(宛先) 安曇野市議会議長

安曇野市議会議員

矢澤毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和4年安曇野市議会 3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input checked="" type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	地域おこし協力隊を地域活性化に活かす考えは		

質問の要旨(具体的に記載してください)

○本市における地域おこし協力隊のこれまでの採用実績や現状は。

地域おこし協力隊は一種のカンフル剤になる可能性は大いにある。

○地域おこし協力隊が地域活性化、市街地活性化に関わるメリットは少なからずあると考えるが、それらに特化した内容で、今後安曇野市において活用していくことは考えられるか。

成功とされる類や少なからず活性化が叶っている事例では、役場の中が拠点ではなく、街中に拠点がある形が目に付く。既存の施設や閉業した商店、旅館などを利用している例が多く見受けられる。地域おこしの拠点づくり、多少なりの商売込みの拠点施設などを創るということは、市が取り組んでいる空き家対策にも通じる話である。

○まちのなかに交流拠点を形成する、またその支援は可能か。

まちづくりや経済活動においては理想論だが、一時的な賑わいではなく、継続的な賑わいをつくることが必要と考える。

○「地域おこし協力隊」の制度自体を今後も市政に取り入れていくことを考えているか。(市長)

提出順	//	発言順	//	令和4年2月15日 午前・午後 / 時 18分受領
-----	----	-----	----	------------------------------

(4枚中No.2)

令和4年2月15日

(宛先) 安曇野市議会議長

安曇野市議会議員

矢澤毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和4年安曇野市議会 3月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()			
担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input checked="" type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()			
質問事項	安曇野市の一部自主財源確保策及び地元経済活動活性化に寄与する、市所有資産への有料広告掲載事業について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

安曇野市における広告掲載事業による地元経済の活性化と自主財源の確保について伺う。

○現在、市で取り組んでいる広告掲載事業について伺う。

このコロナ禍において様々な経済活動が縮小している状態で、様々な面で活性化が求められている。地元経済活動の一助として、また安曇野市の自主財源確保の一つとして、市の資産等への有料広告掲載事業を提案するが、

○有料広告掲載による収入源の一部確保の拡充についてはどうお考えか。

岡谷市の取り組みでは、基本的には各課で運用し、その課の収入として扱われている。

○例えば、岡谷市のように各部署の採算性に任せる形にはできるか。

企業にとっては、比較的安い価格で広告を掲出することができ、高い広告効果が得られることと予想する。実施された際には、市に収入が得られることで、さらなる住民サービスにも繋がる。

○今回の有料広告掲載事業の提案についての見解を伺う。(市長)

提出順	//	発言順	//	令和 4 年 2 月 15 日 午前・午後 / 時 18 分受領
-----	----	-----	----	-------------------------------------

(4 枚中No.3)

令和 4 年 2 月 15 日

(宛先) 安曇野市議会議長

安曇野市議会議員

矢澤毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
答弁を求める者)
担当部長			
<input type="checkbox"/> 総務部 <input type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ())
質問事項	市道穂高 1 級 20 号線クリーンセンター入り口付近の表記について		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

穂高広域施設組合の穂高クリーンセンターの前を通る道路は穂高 1 級 20 号線という市道であり、

一帯は長野高速自動車道と松本糸魚川連絡道路への接続路の計画もある範囲でもある。

その為、このエリアの整備開発というのも考えていかなくてはならないが、シーズンや時間帯によっては、多くの車が行き交う道路となっており、相応の対策を講じることが必要ではないか。

穂高クリーンセンター出入り口について道路上の表記として、

○注意喚起の表記など、現状はどうなっているか。

○情報の掲示や右折レーンの造成など、今後、何かしらの対策は検討されているか。

提出順	/ /	発言順	/ /	令和 4 年 2 月 15 日 午前・午後 / 時 18 分受領
-----	-----	-----	-----	-------------------------------------

(4 枚中No. 4)

令和 4 年 2 月 15 日

(宛先) 安曇野市議会議長

安曇野市議会議員

矢澤毅彦

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	分
□市長 □副市長 □教育長 □他 ()			
担当部長 □総務部 □政策部 □財政部 ■市民生活部 □福祉部 □保健医療部 □農林部 □商工観光部 □都市建設部 □上下水道部 □教育部 □他 ()			
質問事項	区を通じた新型コロナウイルス感染対策関連の支援について		

質問の要旨（具体的に記載してください）

昨今の新型コロナウイルスの感染拡大によって、様々な住民活動を始め、健康の増進推進の活動

など数多の事業が中止、延期され、コミュニティの分断などがおきている。

例えば、定期的な換気を促す為に、二酸化炭素濃度測定機を導入する際の補助金であるとか、

その交付といったような、区を通じて、市民活動、公民館活動の安全を少しでも確保しながら、幾

分でも安心して、徐々に活動を復活させていく一助として、

○区を通じて、感染対策の支援は市として取り組めないか。見解を伺う。